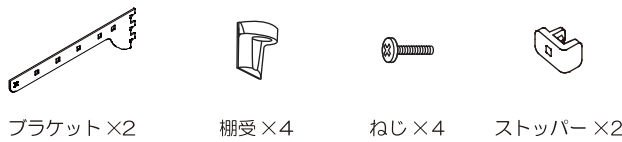


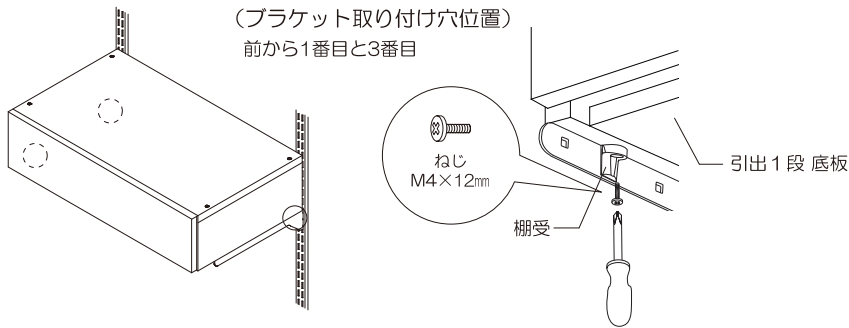
6 引出1段の組み立て・取り付け

警告 引出1段をスリットに取り付けた場合は、その上に引出を積まないでください。
重量が重くなり、引出の破損や、落下して床の損傷やケガをするおそれがあります。

(施工前の準備) 引出1段をスリットに取り付ける場合は、以下の部品が必要です。施工前に別途手配をお願いします。



1. ブラケットに棚受を取り付けて、スリットの引出1段を取り付けたい位置の穴に差し込んでください。
取り付け後、**スリットにブラケット(腕木)が確実にハマっているか確認してください。**
※棚受の取り付けは **3 棚板+パイプ/棚板セットの組み立て・取り付け** の手順1の奥行=400をご確認ください。
2. スリットに取り付けたブラケットに引出1段を載せ、棚受と引出1段の底板の鬼目ナットの位置を合わせて、手回しドライバーで引出1段をブラケットに同梱のねじで固定してください。

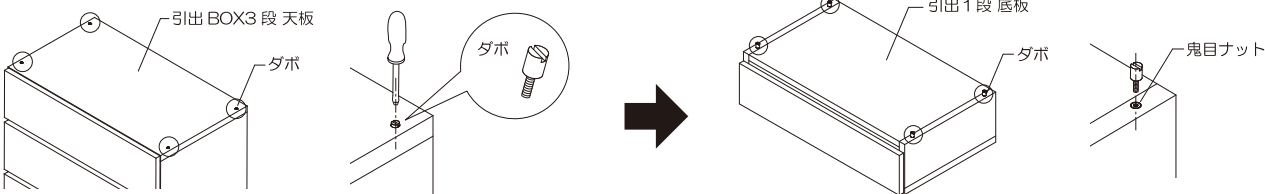


注意

- 引出1段をスリットに取り付ける際は、必ず二人以上で作業を行ってください。引出1段をブラケットに固定するまで、1人の方がしっかりと引出1段を支え、落下しないよう十分ご注意ください。
- ねじを締め付ける際は、必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバー等で締め付けすぎると、鬼目ナットが破損して脱落します。

(引出1段を引出BOX3段に積む場合)

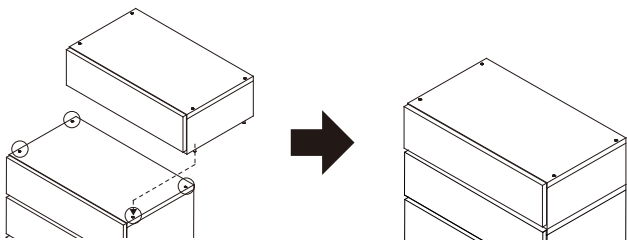
1. 引出BOX3段の天板に取り付いているダボをマイナスドライバーではずして、引出1段の底板の鬼目ナットに取り付けてください。



2. 引出1段の両端を二人で持ち、引出BOX3段の天板のダボが取り付けいていた穴に、引出1段に取り付けたダボを入れて、引出BOX3段に引出1段を積んでください。

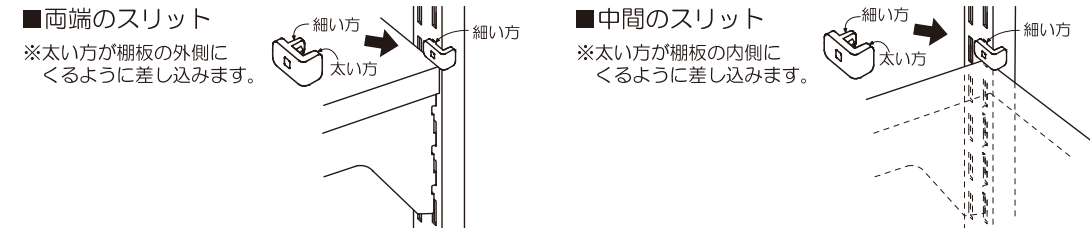
注意

- 引出1段を積む際は、必ず二人以上で作業を行い、引出1段の落下や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 引出BOXと引出1段の合計積み重ね可能段数は5段までです。



7 落下防止ストッパーの取り付け

スリットに落下防止ストッパーの細い方を差し込んで取り付けてください。



施工後のお願い

ねじの取り付け漏れ、ねじの緩みがないか再度点検してください。
ねじの取り付け漏れ、緩みがあった場合は、必ず手回しドライバーで全てのねじを締め付けてください。

ES-rack

必ずお客様にお渡しください

施工説明書

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり安全で正しい施工を行なってください。
誤った施工における苦情、返品、取替えには応じかねます。
- 梱包材や残材は法律に従って適切に処理してください。

※この「施工説明書」では、安全注意事項が次の表示で記載されています。
お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するために必ずお守りください。



警告 取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。



注意 取扱を誤った場合、使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。

施工前のお願い

(製品の積み下ろし)

- 投げ込みなどはしないでください。
- 長物は2人以上で積み下ろししてください。

(製品の一時保管)

- 直射日光は避けてください。
- 積み重ねやたてかけはしないでください。
- 水濡れやキズが付かないように十分に養生してください。

(製品設置場所の確認)

- 製品にキズが付かないよう、十分にスペースを確保してください。
- 併設のドアや扉、引き出しの開閉に支障がないか確認してください。
- 取り付ける壁面に下地が入っているか確認してください。
下地が不足している場合、壁の躯体施工をやりなおしてください。
- 不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
不陸があるまま施工すると、棚板の水平が出ず、収納物が落下して床の損傷やケガをするおそれがあります。
- 本製品はクロス仕上げ後に取り付けてください。
クロス仕上げ前に設置すると、クロス剥がしの際に塗装が剥がれて腐食の要因となります。

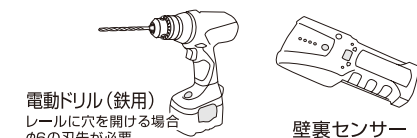


- 絶対に分解したり修理・改造は行なわないでください。破損や思わぬケガの要因となります。
- 下地のない壁(ALC壁等)の場合は、本製品の取り付けを行わないでください。
取り付け強度が保てず製品が落下してケガをするおそれがあります。

取り付けに必要な工具



(あれば便利な工具)



(主要パーツ一覧)

■スリット

レールに引掛けて横幅(スパン割付)を決定する部材。
取り付けねじ：タッピンねじ4×50mm

■棚受

ブラケットに取り付けて棚板を固定するための樹脂材。

■パイプ受

ブラケットに取り付けてパイプを固定するための樹脂材。

■ナット付パイプ

ブラケットに取り付けてパイプセットとして使用する部材。

■レール

壁面に固定して設置高さを決定する部材。
取り付けねじ：タッピンねじ4×50mm

■ブラケット(腕木)

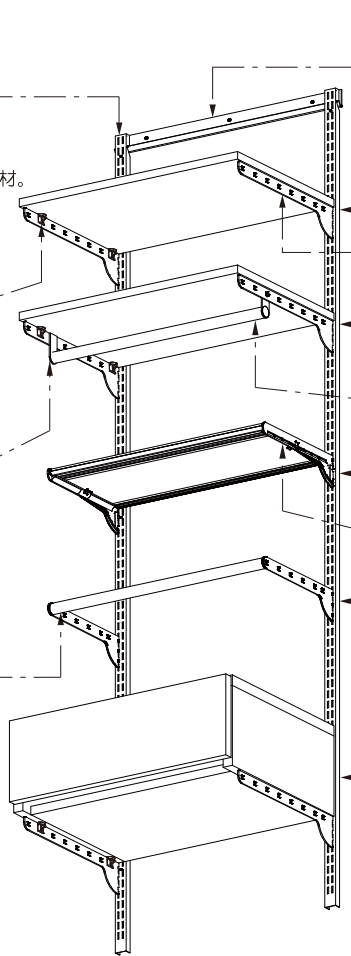
スリットに差込み木棚・パイプを取り付けるための部材。

■パイプ

ブラケットにパイプ受で取り付けて木棚と一緒にセットとして使用する部材。

■樹脂ブラケット

棚を載せるための棚受・ブラケット一体型樹脂材。



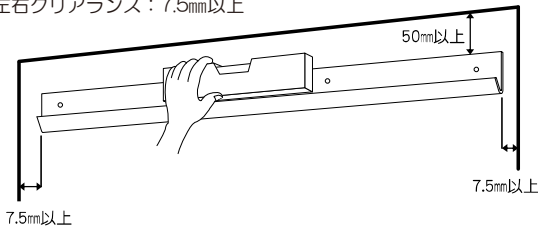
製品仕様	
レール・スリット・ブラケット	スチール / 粉体焼付塗装
パイプ	スチール / ステンレス巻き
棚板	パーティクルボード / 低圧メラミン貼り
樹脂製棚板	PVC
樹脂ブラケット	PC
受け材	ナイロン66
引出BOX・引出1段	パーティクルボード / ポリエステル合板貼り

1 レールの取り付け

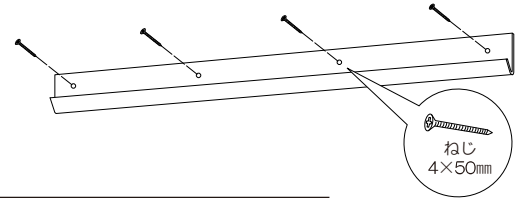
1. 水平器で水平をとって、レールの取り付け位置の墨出しをしてください。

(レールの取り付け位置)

レール上部クリアランス：50mm以上
レール左右クリアランス：7.5mm以上



2. 同梱のねじでレールを固定してください。
固定後、水平器で水平がとれているか確認してください。

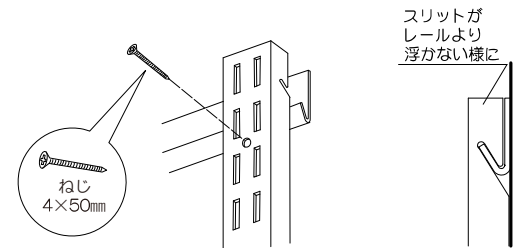


注意

レール上部、左右のクリアランスは必ず確保してください。
スリット、棚板の取り付け取り外しができなくなります。

2 スリットの取り付け

1. レールにスリットを引っ掛けて、確実に奥まで差し込んでください。
2. 同梱のねじでスリットを固定してください。
固定後、水平器で垂直がとれているか確認してください。



(スリットの取り付け位置)

棚板/パイプの幅によって異なります。
以下寸法公式で寸法を算出して取り付けてください。

①＝設置する棚板/パイプ 幅－55mm
②＝設置する棚板/パイプ 幅－42mm
③＝設置する棚板/パイプ 幅－29mm

＜例＞W450の棚板の場合

①：395mm ②：408mm ③：421mm

＜例＞W600の棚板の場合

①：545mm ②：558mm ③：571mm

＜例＞W750の棚板の場合

①：695mm ②：708mm ③：721mm

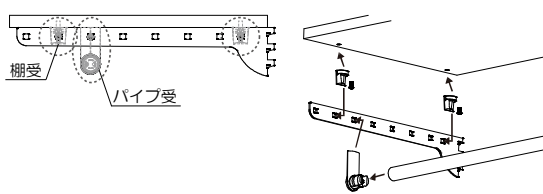
＜例＞W900の棚板の場合

①：845mm ②：858mm ③：871mm

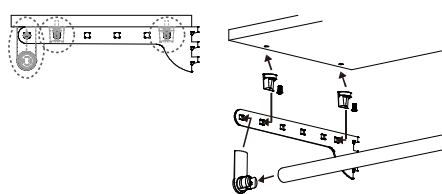
3 棚板+パイプ/棚板セットの組み立て・取り付け

1. 棚/パイプ受の突起部をブラケット(腕木)の穴に差し込んで45度回転させて固定してください。
パイプ受は丸い突起部にパイプを取り付けて、ブラケット(腕木)にパイプを固定してください。

■奥行 = 400



■奥行 = 300

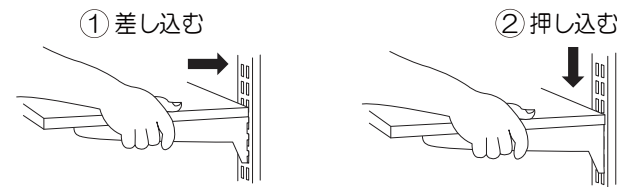


注意

パイプ受は奥行を確認し、正しい位置に取り付けてください。
取り付け位置が違くと、耐荷重の低下、及び衣類がかけられなくなります。

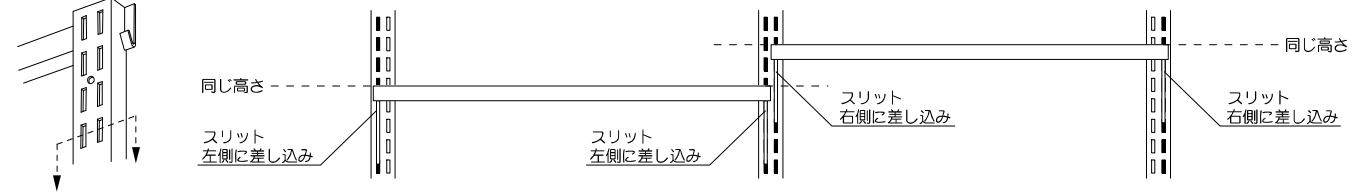
2. ブラケットの取り付け穴と棚板の鬼目ナットの位置を合わせ、
手回しドライバーで棚板をブラケット(腕木)に同梱のねじで軽く締めて(固定しない)仮止めてください。

3. 棚板とブラケット(腕木)を一緒に両手で持ち、スリットの穴に差し込んでから下へ押し込んで、スリットに棚板を取り付けてください。
取り付け後、**スリットにブラケット(腕木)が確実にハマっているか確認してください。**



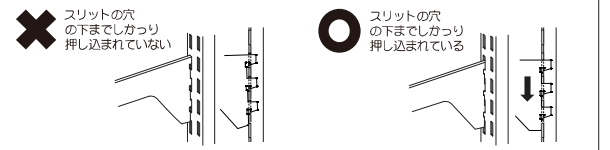
(ブラケット差し込み位置)

ブラケットは最上部から4つ目の穴からしか取り付けできません。

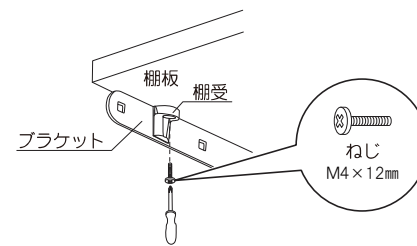


注意

ブラケットは正しい位置に確実に取り付けてください。
取り付けが不十分の場合、棚板が脱落します。



4. 棚板の取り付け位置が決まったら、手順2で仮止めた棚板のねじを手回しドライバーで締め付けて固定してください。



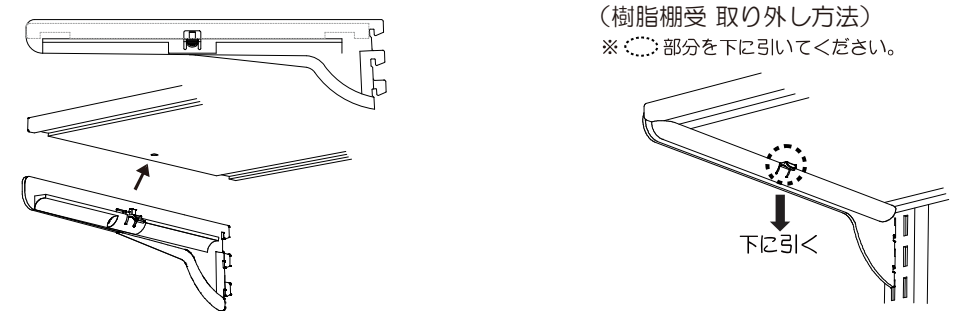
注意

ねじを締め付ける際は、必ず手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバー等で締め付けすぎると、棚板及び棚板の鬼目ナットが破損して棚板が脱落します。

4 樹脂製棚板セットの組み立て・取り付け

樹脂棚受を取り付けたブラケット(腕木)をスリットに取り付け、樹脂棚受の突起と棚板の穴を合わせて、樹脂棚受に棚板を載せてください。

取り付け後、**スリットにブラケット(腕木)が確実にハマっているか確認してください。**



(樹脂棚受 取り外し方法)

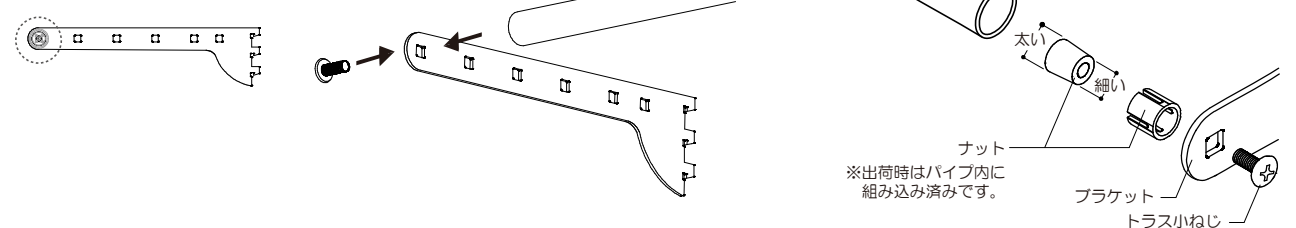
※ 部分を下に引いてください。

5 パイプセットの組み立て・取り付け

1. パイプに取り付いているねじをはすし、ねじをブラケット(腕木)の穴に通して再度パイプに締め付けて固定してください。

(パイプ取り付け位置)

前から1番目



2. パイプセットの組み立て完了後、棚板+パイプ/棚板セットと同じ手順でスリットに取り付けてください。
スリットにブラケット(腕木)が確実にハマっているか確認してください。